

## 【創世記第30章】

「姉を嫉妬し、ヤコブに言った。「私に子どもを下さい。でなければ、私は死んでしまいます。ヤコブはラケルに怒りを燃やして言った。」(1、2節)

旧約において女性が子供を産むことは神の祝福のしるしでした。だからレアとラケルは争ったのでしょうが、それにしてもこんな事も聖書に書いてあるのか! ?と驚くような醜い妬みあいです。7つの恐るべき罪について学んでいますが、高ぶり 怒り 妬み 不品行 暴食 怠り 強い欲心 そして「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」ローマ3：23と聖書は言っています。

夫から嫌われていたレアの胎を開かれて、子供が次々に生まれて来るのを見て、とうとうラケルが姉を嫉妬したと書かれています。「私に子どもを下さい。でなければ、私は死んでしまいます。」他人の成功を見て「いいなー」と思う事から妬みが起こります。それに対してラケルを愛していたはずのヤコブは怒りを燃やして～とあります。妬みと怒り!! 悪の連鎖です。「ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。」「人の怒りは、神の義を実現するものではありません。(ヤコブ1：20)

ではどうやってこの様な妬みや怒りの罪から免れることができるのでしょうか? 神に愛されている事をもっと知り、他人との比較の中で生きるのではなく、神と自分の愛の関係の中に生きる事です。その為に神の愛を毎日に求め、ラブレターである聖書を毎日読み、聖霊を求めましょう。「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」自分の性質でない神のみ思いを宿すことができます。それでも弱い私たちです。罪に振り回されないように、あらかじめ平素から祈っておくとよいですね。また残念ながら怒ってしまった時は10数える(怒りがあまりにひどい時は100)といいと言った方もあります。あるいはその場から離れて鎮まり平安を求めましょう。また妬んだり怒っても自暴自棄にならないで、直ぐ悔い改めて、困難かもしれませんがそのことも感謝しましょう。感謝する事は主に問題を委ねる事です。自分を責めたり他人を責めても更に罪の上塗りをするだけです。そして自分で何かしようとするのではなく、神に委ねる事。人の手に落ちるよりは神の手に落ちる方が恐ろしいです。しかし、この様な罪の現実の中で、着々と神様のご計画は進展している事を覚えてください。

神の怒りを受けてしかるべき我らが、赦されている事は驚くべき事です。これがクリスマスです。そういう意味で毎日、礼拝ごとにクリスマスが味わえるのです。罪のただ中に光として世に下って来られた救い主イエス・キリスト!! だから私達は祝いさんびの声を上げてゆきましょう。昨日も東京のど真ん中でゴスペルの声が高々にあげられ、素晴らしい祝福にあずかりました。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3：16)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会  
Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven  
主任牧師：イエス・キリスト  
牧師：ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.12.21 No.820

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、  
主のみわざを見るであろう。  
わたしがあなたとともに行うことは  
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



中野ZEROホールで こころゴスペル

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

